

# KGA

'03春季号

2003年5月1日発行



NO. 82

## 目次

第55回 関東ゴルフ連盟通常総会 不況を見据えた重要議題の承認	1
吉田友明新理事長に聞く “和”的精神で一致団結	4
競技・ハンディキャップ・ジュニア各委員長 抱負を語る	6

ジュニア・スクール・レポート 春とともにジュニアは集う	8
総会・理事会・分科委員会議事録	12
月例競技成績表・お知らせ	28

表紙Photo KGA春季ジュニア・ゴルフスクール  
鷹之台カンツリー倶楽部(撮影・塙越克一/KGA広報委員)

 関東ゴルフ連盟

総会

第55回関東ゴルフ連盟通常総会

## 不況を見据えた重要議題の承認

—新理事長には吉田友明氏選出—

文・塙田 正 (KGA広報委員)  
写真・塙越克一 (KGA広報委員)



第55回関東ゴルフ連盟通常総会 (於ホテル・ニューオータニ)

第55回関東ゴルフ連盟通常総会は、平成15年2月20日（木）午前10時からホテル・ニューオータニにおいて開催された。定刻福田彰理事長が議長席に着き、加盟495倶楽部中（準会員を除く）委任状を含め、356倶楽部の出席を見、適法に成立した旨の報告があり、開会を宣した。福田彰理事長、尾閑秀夫副理事長より「平成14年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」および「平成15年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」につき、それぞれ活動報告、基本方針の説明があり、万場一致で可決された。その後、「役員全員任期満了につき改選の件」「財日本ゴルフ協会理事、監事候補推薦に関する件」等の議案を可決し、午後11時30、総会を終了した。

### ◆年会費、参加料の減額

今年の総会でとくに注目されたのが、加盟倶楽部の年会費を时限的措置として25%軽減し、競技参加料を最大で50%、金額にして5,000円、平均で20%引き下げた点である。

この軽減によって関東ゴルフ連盟としては、年会費として4,400万円弱、競技参加料として、1,500万円弱のそれぞれ収入減となるが、福田彰前理事長は、この点について次のように述べている。  
「昨年、特別委員会を作つて検討してきたが、この厳しい状況下で、なんとか年会費、競技参加料の減額に漕ぎつけることができた。ゴルフ界のさらなる発展を望みたい」

と、时限的措置とはいながら、日本のゴルフ



挨拶する福田彰前理事長



予算編成の基本方針を説明する尾関秀夫前副理事長

この件については、前記のように福田前理事長から「快く承諾して頂き、御礼申し上げたい」との発言があったが、「開催俱楽部には収入減になってしまうが、全俱楽部の利益を考え、ご協力頂けるものと考える」と尾関前副理事長は基本方針の中でこう結んでいる。

いずれにしても年会費、

競技参加料、コース使用料等の減額、さらに事務局経費ほか諸経費の見直しなど、この通常総会では財政面での思い切った改革が最大の目玉となった。

その他平成15年度事業計画としては(1)「KGAゴルファーズカード」の普及促進。(2)女子ハンディキャップの実施。平成15年から実施する女子ハンディキャップ制度に伴い、女子コースレート査定の実施。(3)ジュニアゴルファーの育成などが提示された。

また平成14年度一般会計・特別会計決算、平成15年度一般会計・特別会計予算案は、事務局から報告、承認された。

これが不況の続く日本経済のあおりを受け、相変わらず低迷傾向にある日本のゴルフ界を反映した活動方針の最も特徴的な一面といふことができる。

そしてさらに前記年会費、競技参加料の収入減に対する措置として①コース使用料、②各団体への助成金、③各都県協議会助成金の減額等も基本方針として報告されたが、福田前理事長は「コース使用料等を減額するという犠牲をお願いしたのですが、どこも快くこれを受け入れて頂き、心から御礼を申し上げたい」と謝辞を述べている。

尾関前副理事長の平成15年度予算編成基本方針によれば、コース使用料は50%の減額になるのだが「コース使用料はバブル期のビジターフィーの高騰により、メンバーフィーとの間に大きな格差が生じ、それを補助する意味で現行の金額となつた経緯がある。しかしながら昨今はほとんどの俱楽部では、平日のビジターフィーとメンバーフィーとの格差が僅少となっており、開催競技による集客効果を合わせて考えれば、コース使用料の減額については理解を得られるものと考える」としている。



理事長就任の挨拶をする吉田友明氏



吉田理事長と福田前理事長が握手

### ◆新理事長に吉田友明氏選出

任期満了に伴う役員改選では、まず各都県から推薦された理事、ならびに学識理事、監事がそれぞれ承認された。

理事長の互選については、新理事が別室において協議、新たに吉田友明氏が理事長に選任された。

その後、総会は再会され、福田前理事長が吉田氏の理事長選出を報告し、ついで吉田新理事長が

就任挨拶を行ない、議長交替して第4号議案即ち日本ゴルフ協会理事・監事候補推薦に関する件に入った。議長より平成15年1月21日の理事会において新理事長、副理事長に推挙を一任された候補者について報告がなされ即ち日本ゴルフ協会に届けたこととした。なお理事候補は尾関秀夫、小宮山義孝、斎藤文志郎、前川昭一、吉田友明、渡邊満之助の各氏。監事候補は廣瀬康夫氏といった顔ぶれ。

最後に「即ち日本ゴルフ協会平成14年度事業報告、および決算報告、ならびに平成15年度事業計画、および予算に関する件」に移り、「平成15年度事業計画および予算案は、平成14年12月16日のJGA理事会において決定し、加盟俱楽部に送付済みである。平成14年度事業報告、および決算報告については、2月28日に開催される即ち日本ゴルフ協会理事会終了後に送付される予定である」旨の報告を事務局より行ない、承認された。

以上で総会の議事を終了し、吉田新理事長は、退任された新井安寿、海老原亀久寿、金井弥壽郎、川上陸水、楠木陽一郎、小山薫一、鈴木晃佳、玉井英二、福田国三、堀正彦、山田六一の各氏に謝辞を述べられ、逝去された故藤井英男氏に哀悼の意が述べられた後、午前11時30分閉会を宣した。

### 平成15年度 関東ゴルフ連盟 役員・委員長一覧表

※50音順（敬称略）  
平成15年4月1日現在

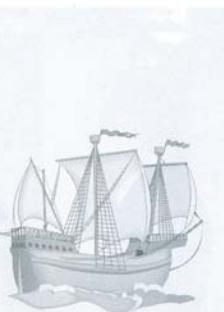
役員（63名）			
理事長 吉田 友明	小宮山 義孝	普勝 清治	平山 誠一
副理事長 牛込公一郎	岩宮 浩	大原 憲二	前川 昭一
常務理事 赤羽 功	篠崎 勝宏	高橋 正孝	牧野 庄三
斎藤文志郎	塚原 裕	南学 正昭	松本 富夫
田中 経策	野口 正三	萩原 剛	村上 富司
		広中 三男	吉岡 文平
			吉澤 兵左
監事 近藤 啟	森川 幸美	渡邊満之助	廣瀬 康夫
特別顧問 新井 安寿	安藤 修一	飯豊 周二	小宮山 義孝
	伊藤 淳	伊藤 文吉	松本 富夫
	井上 裕之	遠藤 栄松	富田 浩安
理事 相澤 伸幸	福川 康政	大鷲 俊朗	大原 憲二
砂金 俊夫	大池 誠実	太田 哲男	中野 弘治
福川 康政	尾関 秀夫	鬼沢 忠治	大鷲 俊朗
大池 誠実	古賀 始	小坂 健介	吉田 友明
尾関 秀夫	志村 和也	下条進一郎	高橋 正孝
古賀 始	菅 浩	高橋 利之	伊室 一義
志村 和也	田村 圭司	塚本清士郎	廣中 三男
菅 浩	西原 悍	林 雄太郎	斎藤文志郎
田村 圭司		人見 隆清	
西原 悍			
総務委員会			
競技委員会			
ハンディキャップ委員会			
コース・レート委員会			
月例競技委員会			
ジュニア育成委員会			
広報委員会			
税対策委員会			
グリーン委員会			
体協部会体協委員会			

吉田友明新理事長に聞く

## “和”の精神で一致団結

—新しく船出した“吉田丸”的進む道—

インタビュー／塩田 正(KGA広報委員)



去る2月20日の関東ゴルフ連盟の通常総会で、新理事長に吉田友明氏が選出された。日本のゴルフ界は不況にあえぎ、いろいろな問題が浮かび上がってきており、この厳しい状況下にあって“吉田丸”は、どう荒海を乗り越えていくのか。そのへんを新理事長に聞いてみることにした。



吉田友明新理事長

### ●分担制を目指した新人事

—不況という大変な時期に関東ゴルフ連盟理事長というお立場に立たれたわけですが、まず、新理事長としての抱負をお聞かせ頂ければと思います。

吉田 まったく急に決まったことで、総会の席上では「よろしくお願いいたします」とだけ挨拶したんですが、いま冷静に自分の置かれた立場を考えると、まず頭に浮かぶのは、有難いことに福田彰前理事長はじめ執行部のみなさんが、時代の変化にふさわしい路線を敷いておいてくれたことです。この路線にのっとってやっていこうということです。

—具体的にはどんな点でしょうか。

吉田 例えば加盟各俱楽部に向けての年会費の減額や競技参加料の減額があります。総会の席上、福田彰前理事長や尾関秀夫前副理事長からお話を

ありました。3年間の時限的措置として、年会費の25%ならびに競技参加料の減額などがそれです。ご存じのように関東ゴルフ連盟は、加盟俱楽部によって成り立っています。加盟俱楽部の運営がうまくいかなければ、関東ゴルフ連盟の運営にも支障が出て参ります。その点では年会費の減額ということで、少しでも運営上のお役に立てばと思います。

またこの時に競技参加料を減額することによって、多くのプレイヤーに競技会に参加して頂きたい、また、それによって各俱楽部の集客や活性化につながるのではないか。そんな点を期待しております。

—福田前理事長の提唱した路線を評価し、それを踏襲というのはわかりましたが、吉田色というのは、どんな点で出るのでしょうか。

吉田 いままではしっかりと福田前理事長の体制下で路線を着実に進んでこられたのですが、これからは、各方面の分担をはっきりさせながらやっていこうと思っております。総務が小宮山義孝さん、財務が普勝清治さん、そして競技が牛込公一郎さんの各副理事長が担当するということでお願いしました。最初は競技関係の牛込さんの名前はなかったのですが、第1回理事会においてある加盟俱楽部の理事の方から「もう一名副理事長を選出すべきではないか」というご提言があり、牛

込副理事長の選出が決まったのです。これで総務、財務、競技の各部署の責任者である“3本柱”が決まったわけです。この“3本柱”が委員会を指揮し、さらに委員長にも十分な活動をして頂き、最終的には私が責任をとる——こういう組織内系列を作り上げたことが新しいやり方といえばいえるかもしれませんね。

### ●次代を担うジュニアの育成

—それと、新しい方向として、関東ゴルフ連盟と各都県ゴルフ協会との円滑な協調関係というのも、これから重要な課題だと思いますが…。

吉田 埼玉県では埼玉県ゴルフ協会と関東ゴルフ連盟に加盟していない俱楽部も含めて、埼玉県ゴルフ連盟を作りました。閉鎖的な部分を改めて、埼玉県ゴルフ協会と一体になろうということで推進していったわけです。関東ゴルフ連盟としても、生涯スポーツとしてのゴルフという課題もあるわけですから、各都県のアマチュアゴルフ協会とは“ゆるやかな連合体”として、ドッキングする必要があると思います。

—協力関係ということですが、まずどんなことから…。

吉田 各都県アマチュアゴルフ協会の主催する競技会に、要請によってルールや競技運営等に精通した競技委員を派遣するとか、開催コースについての相談に乗るとか、まあ、各方面でご協力はできると思います。

—昨年の特筆すべき成果として、ゴルフ場利用税の一部撤廃ということで、これまでの努力が報われたかたちになりましたが…。

吉田 署名運動など積極的に働きかけた先人たちの努力の賜だと思っています。素晴らしい成果だと思っております。これを受け継いで、さらによりよい方向にもっていくのが私の使命だと思っています。

—そしてもう一つの大好きな問題として、ジュニアの健全な育成というのがあります。



新理事長として抱負を語る吉田友明氏。右は話を聞く塩田広報委員

吉田 将来の日本のゴルフを背負って立つ人たちは、ジュニアの育成は大変重要な事業だと思っています。ジュニア育成委員会は、一番人気の多い委員会でもあります。力を入れていることが、このことからもわかると思います。私はとくにジュニアのゴルファーに望みたいのは、大人になって社会人として通用するエチケットとマナーをしっかりと身につけてもらいたいということです。ですから育成委員会の皆さんにも「エチケットやマナーは技術修得よりも上位にある」という観点から指導して頂きたいと思っています。そうすれば自分に厳しく、相手をいたわるという人間として非常に重要な自然な気持も出てくると思います。キリストの教えに「自分がして欲しいことは、他人にしてあげなさい」というのがあります。これは私のモットーでもあるのですが、これで人の和が保たれるのです。そういう点では、ジュニア教育はもちろん、本質的には連盟の方針も一致団結した“和”的精神で貫かれていなければいけません。前面に横たわるいろいろな問題も、まずは“和”的精神を基盤にして対応していく必要があると思っております。

—長時間、様々の方針を示して頂き、有難うございました。

# 抱負を語る

## 競技・ハンディキャップ・ジュニア各委員長



競技を通じて  
エチケット、マナー、  
ルールの再確認

競技委員長 松本富夫

この度関東ゴルフ連盟の競技委員長の大役を拝命いたしまして責任の重さを感じております。今まで私が競技生活の中で経験いたしましたことを生かして、競技ゴルフとしての団体を正しく、楽しく運営するために努力する所存です。

当連盟も今年は理事会の答申として、厳しい経済状況のもと主催競技コース使用料の大幅減額をお願いいたしました。これに伴い分科委員会のスリム化を進めることになりました。

当委員会も委員数の削減により少数精銳を図り、原則として予選競技は4人体制をとり、不足人数については開催俱楽部の競技委員及び各都県団体委員には今後の交流も含めて、お手伝いいただくことにしました。ゴルフ界も長い不況によりプレイヤーの減少が続いているますが、競技団体として、各競技を通じて楽しい中にも厳しさを交えて、是非ゴルフの復活に寄与出来ればと考えております。またこの際もう一度見直さなければならないのは、競技ルールを知らない人、マナー、エチケットを守らない人がかなり目立つことも事実であります

ので、出来るだけ競技に参加をしながら勉強する機会を作り、レベルの向上が出来ればと希望いたしております。最後になりましたが当委員会も省力化のもと運営を行なってまいりますので、何とぞ関係各位のご協力をお願い申し上げます。



参加者の広がりと  
ハンディキャップの  
見直し

ハンディキャップ委員長 富田浩安

お話しをいただきました時は、ハンディキャップについて特別専門知識を持ち合わせておらず多少戸惑いを感じましたが、前任の稻川委員長はじめ委員の方々、そしてJGAのハンディキャップ委員会のメンバーの方々と勉強させていただいた上で、必要があれば現行ハンディキャップ制度「J-sys」（ジェーシス）を見直し、KGAはもとよりJGA加盟の俱楽部が100%導入出来るような制度を模索することが、私の役割と思うに至り引き受けさせていただきました。

私は学生時代からハンディキャップをつけない競技に出ることが多かったのですが、財日本ゴルフ協会も日本体育協会の傘下にはいり、関東ゴル

フ連盟でもアンダーハンディ競技など行なってきていますが、ハンディキャップ制度の確立が重要な課題になってきております。さらに正式なハンディキャップを取得しにくい学生ゴルファーやジュニアゴルファーの存在もあります。こうしたことから、正しいハンディキャップ制度の確立は、ゴルファーの底辺拡大に大きな影響を有するものと考えます。

現在、ハンディキャップシステムの基盤は、皆様ご存じの「J-sys」による査定ですが、この制度を採用している俱楽部は加盟俱楽部の50%と聞いております。50%とは予想を下まわるレベルですが、採用していないのには、それだけの理由があるのではないかと考え、未採用俱楽部の皆様にも働きかけて委員を出して頂き、委員会という場で議論をして頂きたいと思っております。

例えば、ほんの一例かも知れませんが、新しい委員の方々から「J-sys」の問題点として指摘されていますのは、個々の俱楽部で採用しているハンディキャップの基準と差が大きい、土日祝祭日の利用ができない、そして大きな問題として費用がかかるなど、これから解決すべきこともあります。

さらに女子ゴルファーのハンディキャップの確立に問題もあり、委員会に与えられた役割は決して易しくないと思っております。まずは、前途多難ですが委員会の皆様と少しずつ前進していくつもりですので、ご指導の程よろしくお願い致します。



エチケットとマナーを  
尊重するジュニア像の  
確立

ジュニア育成委員長 大鷲俊朗

昭和57年に発足したKGAジュニア育成委員会は、4月1日現在、約2,500名（JGAでは約6,200名）のジュニア会員を有し、59名のジュニア委員、22名の都県ジュニア担当委員、また高等学校ゴルフ連盟の先生方など約100名が世話役で育成指導に当たっています。

夏休みに開催している関東ジュニア選手権は、われわれ育成委員会の主な活動の一つです。参加者は、12歳～18歳のジュニア会員800名の男女を対象に開催し、次の日本ジュニア選手権へと挑戦して行きます。

ジュニアスクールは、男女プロ協会の協力を得て、春休み、夏休み期間中に23会場でのスクール及び2会場での小学生大会を行っています。ラウンドレッスンを主体にエチケット、マナー、ルールの指導は勿論のこと、特に心掛けているのは、他のプレイヤーに対しての思いやりを持つことや迷惑をかけないということです。ハンディタオル運動や、10・14・15分プレーの徹底など「自分自身に責任を持たせるプレー」を主に指導を行っています。参加者は毎年2,500名を超えております。

楽しく健全なスポーツであるゴルフの人口が減少しています。ジュニアも例外ではありません。諸外国との環境の違いがあるとはいえ、10万人、いや50万人のジュニアがゴルフを楽しめる日本のゴルフ界へと発展していきたいものです。

そこで俱楽部運営のみなさんに提案があるのでですが、毎週末、午後からいいのですがジュニアを10名（2～3組）ほど、1,000円ぐらいでプレーさせて頂く機会はありませんでしょうか。そしてジュニア諸君は、お小遣いなど自分の力でプレーをするのです。

最後に親権者の一部の人に対しての苦言です。「親」という字は、木の上に立って（遠く）見ると言います。決して近視眼的な教育をしないようにして頂きたいのです。多くの人に誤解されないように。

ジュニア育成に是非ご協力をお願い申し上げます。

## ジュニア・スクール・レポート

## 春とともにジュニアは集う

—エチケット、マナーを守って楽しいゴルフ—

文・山田和臣(KGA広報委員)

写真・塙越克一(KGA広報委員)



朝はまず受付から



スタート前に笠川ジュニア育成副委員長から「エチケット、マナーを守って」という挨拶

春の訪れを告げるジュニア・ゴルフスクールは、今年も我孫子ゴルフ俱楽部、桜ヶ丘カントリークラブ（いずれも3月24日）を皮切りに、27日、ノーザンカントリークラブ・錦ヶ原ゴルフ場（初級者教室）、28日、セントラルゴルフクラブ、31日、茨城ゴルフ俱楽部、鷹之台カンツリー俱楽部、佐倉カントリー俱楽部（親子教室）をそれぞれ舞台にして繰りひろげられた。

## △兄弟組の参加で和やかな雰囲気

取材に訪れたのは、初めての試みである初級者教室と中・上級者教室を開講した、春の始めにしては暖かい日和の鷹之台カンツリー俱楽部。春休みを利用して期待にふくらむ顔、顔、顔が並ぶ。

技術指導は日本プロゴルフ協会、日本女子

プロゴルフ協会の面々。そしてマナーやエチケット、ルールは関東ゴルフ連盟ジュニア育成委員会の委員の皆さんの担当だ。

初級者教室に顔を見せたのは32名、中・上級者教室受講者は98名が参加で、欠席は8名と二つの教室ともなかなかの出席率である。中でも目についたのが、兄弟組の参加だ。初級者教室には双子の兄弟が一組、兄と妹の兄弟組がそれぞれ2組、さらに中・上級者教室には、3人の兄弟組（中1、小5、小3）などもいて、和やかな雰囲気をいっそう引き立たせる。

そんな和やかな雰囲気もいざ“教室”が始まると真剣そのものだ。

現代は「自分さえよければいいという時代」とはよくいわれるが、こういう時代だからこそ、ゴ



健康第一、まず準備運動



いざスタート・ホールへ



ティーオフ前に目土袋に砂を入れる



ラウンド後はプロからスイーピングの基本チェック

ルフという競技を通じて、助け合いの精神や協調性を子供たちに教えていきたい——これはジュニア育成委員会のだれもが持つ“生徒”たちへの願いだ。それにはやはり家庭、とくに父親の影響が大きい。「親の背を見て子は育つ」という言葉があるが、ゴルフを通じて社会生活に最も必要な“和”や協調性、さらに周囲への気配りなども学んで欲しいものである。

## △はっきりした目的意識をもつある受講生

初級者教室に参加するのは、せいぜい中学2年生くらいまでと思っていたが、その中でひとくわ目立つ大柄な姿でクラブを振る生徒がいた。聞けばゴルフを始めて3、4ヶ月の高校2年生だという。高校2年生ともなると初級者教室へ参加申込みを

するのに二の足を踏みがちだが、彼は「始めて3、4ヶ月のまったくの初心者なので申込みました」と歯切れよく答える。参加しようという彼の決断——その言葉に一服の清涼感を覚えた。

「日頃の疑問点、技術面をプロにしっかり教わり、エチケット、マナーを守って楽しいゴルフを覚えなさい」と挨拶したのは、笠川喜久男ジュニア育成副委員長だが、前述のような目的をしっかりと持った生徒が多くなれば、この笠川副委員長の言葉の意味も早々と浸透していくに違いない。

時間を見て、上級者グループについてまわったが、随所に「ナイスショット」とか「つぎはショート」「ミドルホール」「ロングホール」等言葉が飛び交う。同伴競技者の美技をほめるのは決して悪いことではないが、ただ、あまりにも大人の言



ラウンドの疲れも見せず、  
熱心にフォームのチェック



大きなバッグを背に

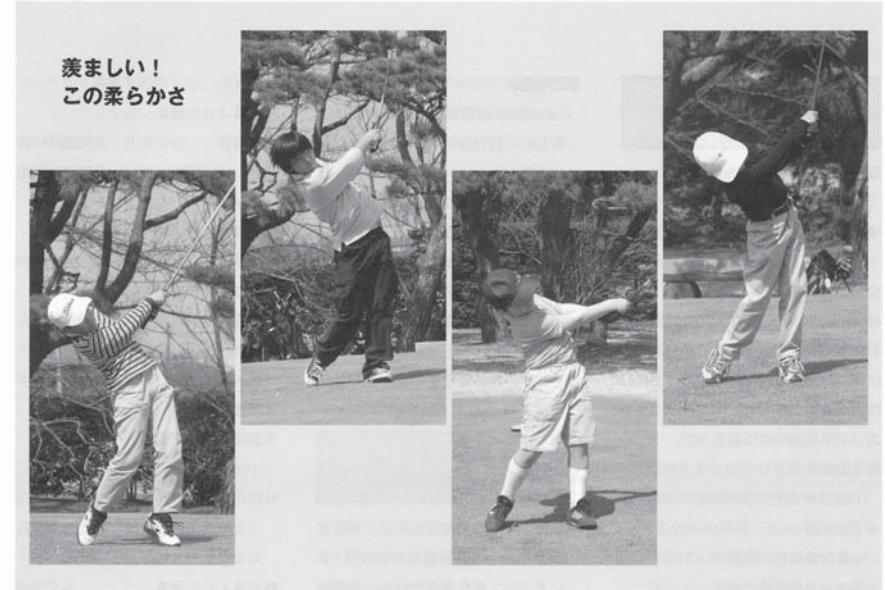
葉に慣れ切って、間違った和製英語などは、使って欲しくないと思うのは筆者だけだろうか。

彼らのような若いジュニア諸君は、いずれ世界各地を訪れ、プレーする機会もたくさんあるに違いない。相手や同伴競技者と楽しくプレーするためにも、いまのうちからプレー中の会話には、十分注意する習慣を身につけておきたいものである。

ラウンド終了後は、みんな練習場へバッグをかついでいく。地元の原政雄プロをはじめ、プロゴルフ協会、女子プロゴルフ協会のプロが待ち受けでジュニアたちのフォームをチェックする。大人の一般ゴルファーは1ラウンド後に練習場へ足を運ぶ人は稀だが、さすがに元気いっぱいの少年少

女たちだけに疲れなどどこ吹く風——といった分配で、練習にも熱が入る。しかし、ゴルフはいまや超長距離ヒット時代を迎え、若者の300ヤードを超えるドライバーは決して珍しくはなくなっている。練習熱心も大いに歓迎されるところだが、同時に基礎体力の強化にも目を向けてもらいたいものである。

教室の最終は全員による球拾いだが、これもあっという間に終わり、閉会式には鷹之台カンツリー倶楽部の佐々木欣一支配人より「これから時代を担うあなたがたはルール、マナーを学び、よいプレイヤーの見本になるように」という言葉を贈られ、充実した教室の一日の幕を閉じた。



羨ましい!  
この柔らかさ



平成14・15年度 KGA春季ジュニア・ゴルフスクール 実績表

会 場	ホール数	定 員	開 催 日	申 込 者	欠席(内無断)	出 場 者	委 員	男子プロ	女子プロ		
1 我 孫 子	18	150	H15 2月24日(月)	150	23	127	7	10	2		
			H14 3月25日(月)	106	6	100	10	8	2		
			前年度比	+44	+17	+27					
2 桜 ケ 丘	18	150	H15 2月24日(月)	132	17	115	15	12	3		
			H14 3月25日(月)	143	13	130	17	12	2		
			前年度比	-11	-4	-15					
3 ノーザン 錦 ケ 原	9	150	H15 2月27日(木)	78	6	72	11	12	3		
			H14 3月29日(金)	109	21	88	12	12	2		
			前年度比	-31	-15	-16					
4 セントラル	18	150	H15 2月28日(金)	126	14	112	3	10	2		
			H14 3月22日(金)	86	8	78	4	8	2		
			前年度比	+40	+6	+34					
5 茨 城	18	150	H15 3月31日(月)	137	12	125	10	10	3		
			H14 4月 1日(月)	150	18	132	14	10	3		
			前年度比	-13	-6	-7					
6 鷹 之 台	18	150	H15 3月31日(月)	144	14	130	12	12	2		
			H14 4月 2日(月)	83	11	72	7	8	2		
			前年度比	+61	+3	+58					
7 佐 倉	18	150	H15 3月31日(月) 親38子38	親2子2	親36子36	6	10	2			
			H14 4月 1日(月) 親38子38	親2子2	親36子36	9	10	2			
			前年度比	0組	0組	0組					
合 計											
H15											
767 親子38 86 親子2 681 親子36 805名(組) 88名(組) 717名(組)											
H14											
677 親子38 77 親子2 600 親子36 715名(組) 79名(組) 636名(組)											
前年度比 +90名(組) +9名(組) +81名(組)											

# 総会・理事会・分科委員会

## 第55回 通常総会議事録

日 時 平成15年2月20日(木)

午前10時

場 所 ホテルニューオータニ 麗の間

定刻福田理事長席につき、加盟495俱楽部（除く準会員）中、委任状を含め356俱楽部の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、開会を宣した。

次いで平成14年度活動として、

具体的に

(1)KGA年会費の3年間25%の実質的な減額

(2)競技参加料の減額

(3)コース使用料の減額

(4)各団体への助成金の減額

(5)競技関係経費の見直し

(6)県連対抗、アンダーハンディキヤップ競技開催方式の見直し

等をはじめ、組織、財政、事業の抜本的な改革の討議を行った旨の活動報告がなされた後、上程議案審議に先立ち、講事録署名者として渡邊満之助常務理事、普勝清治理事が指名された。

### —決議事項—

#### 第1号議案

「平成14年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

議長の指示により、事務局より一般・特別両会計の決算報告の後、堀監事の監査報告がなされ、原案どおり承認された。

#### 第2号議案

「平成15年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」

尾閑副理事長より、予算編成の基本方針、ならびに各会計の具体案の説明がなされ、今年度競技開催俱楽部に対して、コース使用料の減額の内諾につき謝辞が述べられた。次いで事務局より一般・特別両会計の予算案につき報告がなされ、原案どおり承認された。

#### 第3号議案

「役員全員任期満了につき改選の件」

議長より平成14年11月15日の常務理事会において、連盟規約細則第1条に基づいて選任された11名の各都県理事候補推薦委員より、推举された次記53名の候補者、ならびに規約細則第2条により理事会にて現理事長、副理事長に一任となった学識理事7名、監事2名の氏名が発表され、承認された。

新潟県よりの理事

伊藤文吉・遠藤栄松・斎藤文志郎・牧野庄三

長野県よりの理事

赤羽功・小坂健介・下条進一郎・宮坂久臣

山梨県よりの理事

福川廣政・志村和也・田中經策

群馬県よりの理事

相澤伸幸・太田哲男・萩原剛・福田彰・村上富司

栃木県よりの理事

篠崎勝宏・神場多巳一・高橋利之・滝沢武・広中三男・福嶋寿克・吉

#### 澤兵左

茨城県よりの理事

安藤修一・砂金俊夫・鬼沢忠治・古賀始・塙原裕・人見隆清・平山誠一

#### 埼玉県よりの理事

尾閑秀夫・高橋正孝・林雄太郎・普勝清治・吉田友明  
千葉県よりの理事  
飯豊周二・牛込公一郎・菅浦一・塙本清士郎・富田浩安・平岩健一・渡邊満之助

#### 東京都よりの理事

小宮山義孝・森川幸美  
神奈川県よりの理事

井上裕之・岩宮浩・近藤久男・吉岡文平

#### 静岡県よりの理事

伊藤淳・大池誠実・南学正昭・西原慎・前川昭一

#### 学識理事

大原慎二・大鷲俊朗・川田太三・田村圭司・野口正三・松本富夫・水野正人

#### 監事

近藤敬・廣瀬康夫

統いて議長は、総会議事を中断の上、新理事による理事長互選の為の会議を開くことを指示、別室において選任方法等の協議がなされた。

その結果、平成15年1月21日に開催された理事会の決議により、現理事長、副理事長に候補者の推挙が一任された

ことを受け、福田理事長より新理事長に吉田友明氏が指名され、承認された。

その後、吉田新理事長挨拶の後、総会

議長となり議事を再開した。

#### 第4号議案

「財日本ゴルフ協会、理事、監事候補推薦に関する件」

議長より、平成15年1月21日の理事会において、現理事長、副理事長に推挙を一任された次記候補者につき報告がなされ、財日本ゴルフ協会に届けることとした。

#### 理事候補

尾閑秀夫・小宮山義孝・斎藤文志郎・前川昭一・吉田友明・渡邊満之助

#### 監事候補

廣瀬康夫

#### 報告事項

「財日本ゴルフ協会平成14年度事業報告、および決算報告、ならびに平成15年度事業計画、および予算に関する件」

議長の指示により、事務局より次記報告を行い承認された。

「平成15年度事業計画および予算案は、平成14年12月16日のJGA理事会において決定し、加盟俱楽部に送付済みである。平成14年度事業報告、および決算報告については、来る2月28日に開催される財日本ゴルフ協会理事会終了後に送付される予定である。」

田六一の諸氏に謝辞が述べられ、ご逝去なされた故藤井英男氏に哀悼の意を表明された後、11時30分閉会を宣した。

平成15年2月20日

議事録確認署名者

議長 福田 彰 (印)  
議長 吉田 友明 (印)  
署名者 渡邊満之助 (印)  
署名者 普勝 清治 (印)

議長の指名を受け、事務局より詳細に報告、説明を行い、慎重審議の結果、これを承認、通常総会に上程することとした。

(2)平成15年度一般会計・特別会計予算案

議長より、来年度予算編成については、総務委員会に討議を付託した事項が関わる為、まず、総務委員会からの答申を受けた後の審議とする旨の提案がなされた。

これを受け、小宮山総務委員長より、特別委員会より提出された答申書をもとに詳細な説明がなされた。おもな内容は以下のとおり。

「未曾有の経済不況の中、加盟俱楽部は入場者減とプレーfeeの値下げによる売上高の減少に直面し、預託金償還問題とあわせ、経営内容が悪化している。このため当連盟として、中長期的なゴルフ振興策を実施することは勿論であるが、短期的にも加盟俱楽部の経営改善のために有効な施策を講じる必要があると認識する。まずそのためにはKGAの収支を見直し、支出を最大限に抑えることにより加盟俱楽部が負担している年会費の軽減を図ることが急務である、という結論に達した。

そのために、平成15年度より、以下の事項の実施を提案したい。  
①年会費の減額  
「平成15年度より、3年間の時限的措置としてKGA年会費の25%相当額をゴルフ振興協力金として還元し、実質的な年会費の軽減をはかる。」

## 平成14年度 第3回 理事会議事録

日 時 平成14年12月20日(金) 正午

場 所 ルビーホール

出席者 福田理事長

古賀、尾閑副理事長

赤羽、小宮山、斎藤、田中、広中、前川、吉田、渡邊各常務理事

福川、井上、牛込、遠藤、篠崎、志村、高橋、滝沢、塙原、富田、野口、萩原、林、人見、平岩、福嶋、村上各理事

福田理事長、議長を務め定刻開会を宣し、議事録確認署名者として斎藤文志郎常務理事、野口正三理事を指名の後、順次議題審議を行った。

### —討議及び決議事項—

①平成14年度一般会計・特別会計決算案ならびに平成15年度一般会計・特別会計予算案に関する件

(1)平成14年度一般会計・特別会計決算案

# 総会・理事会・分科委員会

## ②競技参加料の減額

「平成15年度より、競技参加者の負担を軽減し、併せて競技人口の増大をかるため、競技によっては、最大参加料を50%、5,000円引き下げる。」

## ③主催競技コース使用料の減額

「平成15年度より、コース使用料を50%減額する。」

## ④各団体への助成金の減額

「平成15年度より、各都県協議会助成金、東日本支那人会、および関東高等学校ゴルフ連盟への助成金を20%減額する。」

## ⑤事務局経費の見直し

「競技運営費から人件費に至るまでの事務局経費全般の更なる見直しを行なう。」

## ⑥競技関係経費の見直し

「競技開催俱楽部に対し、協力体制の更なる強化を依頼して、開催俱楽部委員中心の運営に変更し、KGA競技委員の派遣数を見直す。また、委員への交通費については、2,000円増額し、7,000円とする。」

## ⑦組織再構築について

「JGA・KGA組織再構築」については、JGA案が固まつた段階で検討することとした。これを受け、各理事意見交換を行った後、上記事項を承認した。また、事務局より上記事項に基づいた、平成15年度一般会計・特別会計予算案について説明がなされ、慎重審議の結果、これを承認、通常総会に上程することとした。

## ②各分科委員会報告、および提案

### (1)総務委員会・特別委員会

稲川理事（委員会座長代行）より、理事会および総務委員会から諸問を受けた事項に関して、特別委員会にて検討した内容の報告が配布資料（答申書）に基づきなされた。

### (2)総務委員会・カード部会

高橋理事（部会会長）より、最新のKGAカード会員数、加盟店契約俱楽部数の報告がなされ、各理事の信頼の協力方の要請がなされた。

### (3)競技委員会

野口理事（委員会座長代行）より、特別委員会答申を受け、平成15年度俱楽部対抗、アンダーハンディキャップ競技の実施規定の見直し、また、現行の競技運営方法の見直しを至急行なう旨の報告がなされた。

### (4)ハンディキャップ委員会

稲川理事（委員会委員長）より、特別委員会答申を受け、平成15年度よりハンディキャップ委員の推薦条件を見直し、委員会の少数精銳化をかる旨の報告がなされた。

### (5)コース・レート委員会

事務局より、平成15年から実施される女子ハンディキャップ制度に伴い、女子コース・レート査定の詳細を決定した旨の報告がなされた。

### (6)月例委員会

事務局より、学生連盟推薦選手の参加をはかるため、参加料を一般の選手の半額に減額した旨の報

告がなされた。

### (7)ジュニア育成委員会

前川常務理事（委員会委員長）より、日本ジュニアゴルファー育成協議会の設立経緯について報告がなされ、各理事の協力方の要請がなされた。

### (8)広報委員会

高橋理事（委員会委員長）より、ホームページ開設についての経緯説明がなされた。

### (9)税対策委員会

小宮山常務理事（委員会委員）より、平成14年12月13日に発表された、ゴルフ場利用税の特別措置の拡充が盛り込まれた「平成15年度税制大綱」について報告がなされた。

## ③JGA個人会員入会審査の件

12月20日現在、入会申請のあった、久保岩次郎氏他9名のJGA個人会員の入会について、これを承認し、名簿をJGAに提出することとした。

## ④その他

(1)年会費納入状況報告

事務局より年会費未納俱楽部の報告がなされ、総会の決議にて複数年未納俱楽部への退会勧告を含めた対応についての討議がなされた。

(2)事務局人事について

議長より、事務局佐藤清参与の12月末日をもっての退職が報告された。

(3)理事長推挙方法について

議長より、来年度以降の理事長推挙方法について、総務委員会に討

議方の依頼がなされた。

以上をもって全議事の審議を終了、福田議長午後2時40分閉会を宣した。

平成14年12月20日

議事録確認署名者

議長 福田 彰 (印)

署名者 斎藤文志郎 (印)

署名者 野口 正三 (印)

## 平成14年度 第4回 理事会議事録

日 時 平成15年1月21日(火) 正午

場 所 ルビーホール 羽衣の間

出席者 福田理事長

古賀、尾関両副理事長

岩宮、小宮山、斎藤、広中、

前川、吉田、渡邊各常務理事

伊藤淳、稲川、井上、牛込、

大原、篠崎、神場、高橋、田

村、塚原、塚本、富田、野口、

萩原、林、平岩、福鶴、松本、

吉岡各理事

堀監事

に報告、説明を行い、慎重審議の結果、これを承認、通常総会に上程することとした。

## ②平成15年、16年度KGA学識理事、及び特別顧問候補選任の件

事務局より平成14年11月15日に開催された、第1回常務理事会において選任された各都県理事候補推薦委員より、理事候補者名簿が提出された旨の報告がなされた。

その後、理事長より標題の件について、以下の提案がなされ、これを承認した。

「平成15年、16年度KGA学識理事、特別顧問候補者については、現理事長、副理事長が候補者を本理事会の承認を得て推挙し、総会で承認いただく手続きとなっていが、新理事長候補者の推挙とともに、現正副理事長に一任していただきたい。選任した候補者については、全理事事に2月20日の総会までに報告することとしたい。」

## ③平成15年、16年度JGA理事、及び監事候補の件

福田理事長、議長を務め定期開会を宣し、議事録確認署名者として広中三男常務理事、平岩健一理事を指名の後、順次議題審議を行った。

### —討議及び決議事項—

## ①平成14年度一般会計・特別会計決算案ならびに平成15年度一般会計・特別会計予算案に関する件

議長の指名を受け、事務局より詳細

テルニューオータニにて開催し、次記議案を上程することを承認した。

## 第1号議案

平成14年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件

## 第2号議案

平成15年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件

## 第3号議案

役員全員任期満了につき改選の件

## 第4号議案

財日本ゴルフ協会、理事、監事候補推薦に関する件

## 報告事項

財日本ゴルフ協会、平成14年度事業報告、および決算報告、ならびに平成15年度事業計画、および予算に関する件

## ⑤JGA個人会員入会審査の件

1月21日現在、入会申請のあった、飯田昭博氏他14名のJGA個人会員の入会について、これを承認し、名簿をJGAに提出することとした。

## ⑥その他

(1)俱楽部対抗競技開催方式の件

事務局より俱楽部対抗競技の実施規定について、競技委員会で改定版を作成している旨の報告がなされ、各都県の開催方式については、常務理事が取りまとめを行い、事務局に報告することが確認された。

## ②年会費納入状況報告の件

事務局より14年度会費未納俱楽部の報告がなされた。今後も請求に

# 総会・理事会・分科委員会

# 総会・理事会・分科委員会

努めるが、複数年未納倶楽部には  
退会を勧告することを確認した。

## (3)退会倶楽部の件

退会申請のあった次記3倶楽部の  
退会を承認した。  
富士エースゴルフ倶楽部  
(静岡県)  
ロイヤルメドウゴルフクラブ  
(栃木県)  
鬼怒川森林カントリークラブ  
(栃木県)※  
※(平成15年3月31日付退会)

## (4)後援競技の件

1月21日現在、後援申請のある次  
記競技の後援を承認した。  
「2003神奈川県アマチュアゴル  
フ選手権大会」  
主 催: 神奈川県ゴルフ協会  
(男子の部)  
予 選: 平成15年4月1日~4月25日  
長竹カントリークラブ  
他9会場

準決勝: 平成15年5月20日~5月27日  
戸塚カントリー倶楽部  
他3会場

決 勝: 平成15年6月16日

相模原ゴルフクラブ

(女子の部)

予 選: 平成15年5月12日

相模カントリー倶楽部

決 勝: 平成15年6月9日

相模カントリー倶楽部

シニア

(男子の部)

55歳以上: 平成15年6月2日

大相模カントリークラブ

65歳以上: 平成15年5月6日

磯子カントリークラブ

70歳以上: 平成15年6月9日  
相模カントリー倶楽部

(女子の部) 50歳以上: 平成15年5月6日

磯子カントリークラブ

ジュニア(中学・高校男女)

平成15年4月2日

相模原ゴルフクラブ

「第22回茨城県社会人アマチュ

アゴルフ選手権大会」

主 催: 茨城新聞社

予 選: 平成15年3月24日~3月27日

スプリングフィルズゴ

ルフクラブ

他3会場

決 勝: 平成15年5月14日~15日

水戸グリーンカントリ

ークラブ山方コース

「第3回茨城県社会人女子アマチ

ュアゴルフ選手権大会」

主 催: 茨城新聞社

期 日: 平成15年5月13日

水戸グリーンカントリ

ークラブ照田コース

「平成15年東日本パブリックア

マチュアゴルフ選手権競技大会」

主 催: (社)日本パブリックゴル

フ事業協会

(男子の部) 予 選: 平成15年4月15日~5月

5日 TPC馬頭後楽園

ゴルフコース&ホテル

他3会場

決 勝: A地区

平成15年5月21日~22日

市原ゴルフクラブ

柿の木台コース

B地区

平成15年5月21日~22日  
清里ゴルフコース

(女子の部) 予 選: 平成15年4月15日~5月5日

TPC馬頭後楽園ゴルフ

コース&ホテル

他23会場

決 勝: 平成15年5月27日

千葉よみうりカントリー

クラブ

「平成15年東日本シニアパブリ

ックアマチュアゴルフ選手権競

技大会」

主 催: (社)日本パブリックゴル

フ事業協会

予 選: 平成15年8月1日~9月4日

おおさとゴルフ倶楽部

他23会場

決 勝: 平成15年10月8日

千葉グリーンパークカ

ントリー倶楽部

(5)総務委員会報告の件

小宮山総務委員長より以下の報告  
がなされた。

「前回の理事会において総務委  
員会に付託された、平成15年度  
の理事長の推薦については、現  
理事長、副理事長に一任するこ  
ととしたい。」

また、KGA法人格取得につい  
て、早急に具体的な検討をはじ  
めたい」。

この報告を受け、福田理事長より  
以下の提案があり、これを承認し  
た。

「KGAの更なる改革を行うため  
に、理事長、副理事長は今期で  
退任し、人事の刷新を図りた

い。新理事長は新理事の互選と  
なるが、候補者の推举について  
は、現正副理事長に一任してい  
ただきたい」。

以上をもって全議事の審議を終了、福  
田議長午後2時閉会を宣した。

平成15年1月21日  
議事録確認署名者

議 長 福田 彰 (印)

署名者 広中 三男 (印)

署名者 平岩 健一 (印)

## 平成15年 第1回 理事会議事録

日 時 平成15年2月20日(木)

午後1時

場 所 ホテルニューオータニ 麗の間

出席者 吉田理事長

相澤、赤羽、安藤、伊藤淳、

伊藤文、稻川、井上、岩宮、

牛込、遠藤、太田、大原、大

鷺、尾関、古賀、小宮山、齊

藤、篠崎、下条、高橋利、高

橋正、滝沢、田中、塚原、塚

本、富田、西原、林、人見、

平岩、平山、広中、普勝、福

田、牧野、松本、宮坂、村上、

森川、吉岡、吉澤、渡邊各理

事

近藤、廣瀬両監事

吉田理事長、議長を務め、理事60名  
中、委任状を含め51名の出席となり、  
適法に成立した旨の報告の後、開会を

宣し、議事録署名者として相澤伸幸、  
赤羽功両理事を指名した。

## —討議及び決議事項—

①平成15年・16年度、副理事長、常  
務理事、特別顧問選任の件

選任については理事長一任となり、  
次記副理事長2名、常務理事14名、  
及び特別顧問1名を指名委嘱し承認  
された。

●副理事長  
小宮山義孝、普勝清治  
●常務理事  
赤羽功、岩宮浩、大原慎二、齊藤  
文志郎、篠崎勝宏、高橋正孝、田  
中經策、塚原裕、南学正昭、野口  
正三、萩原剛、広中三男、森川幸  
美、渡邊満之助

●監事  
近藤歎、廣瀬康夫

●特別顧問  
新井安寿

なお、副理事長について、規約に定め  
る3名への1名追加の提案がなされ、理  
事長に一任された。

②平成15年度分科委員長選任の件

選任方法については、理事長より、  
理事会終了後開催予定の各分科委員  
長会議に一任とした旨の提案がな  
され承認された。

●総務委員会  
小宮山義孝  
●競技委員会  
松本富夫  
●コース選定部会  
松本富夫

●規則部会  
野口正三

●ハンディキャップ委員会  
富田浩安  
●コースレート委員会  
大原慎二

●月例競技委員会  
中野弘治  
●ジュニア育成委員会  
大鷹俊朗

●広報委員会  
高橋正孝  
●税対策委員会  
伊室一義

●グリーン委員会  
広中三男  
●体協部会体協委員会  
齊藤文志郎

③平成15年度分科委員選任の件  
選任方法については、理事長より、  
理事会終了後開催予定の各分科委員  
長会議に一任とした旨の提案がな  
され承認された。

④財日本ゴルフ協会、平成15年度分  
科委員候補選任の件

選任方法については、理事長より、  
正副理事長、及び各分科委員長会議  
に一任とし、財日本ゴルフ協会に候  
補者名簿を提出することが承認され  
た。

⑤入会審査の件  
2月20日現在、準会員から正会員へ  
の変更加盟申請のあった次記1倶楽部  
の入会を承認した。  
●千葉県 ヌーヴェルゴルフ倶楽部

# 総会・理事会・分科委員会

# 総会・理事会・分科委員会

## ⑥財日本ゴルフ協会個人会員入会審査

の件

2月20日現在、申請のあった17名の申し込みを承認し、財日本ゴルフ協会に書類を提出することとした。

以上をもって、全議事の審議を終了、吉田議長午後1時40分閉会を宣した。

平成15年2月20日

議事録確認署名者

議長 吉田 友明 (印)  
署名者 相澤 伸幸 (印)  
署名者 赤羽 功 (印)

追記

理事会において提案された副理事長1名追加の件は、理事長より牛込公一郎氏が指名嘱咐された。

これにより副理事長は3名となった。

## 平成15年度 第1回 競技委員会議事録

日 時 平成15年2月24日(月)

午後1時

場 所 ダイヤモンドホテル会議室

出席者 吉田理事長

松本委員長

稲川、織戸、竹下、田中、矢野各副委員長

浅野、安藤、岩田、魚本、大久保、小澤、加藤、木村、国吉、熊澤、小池(尚)、小池(浩)、近藤、坂井、坂崎、柴田、鳥村、代田、須崎、鈴木、高頭、高橋、泊、豊泉、中沢、中島、南郷、橋本、馬場、平

田、広瀬、船越、発知、松井、三浦、守山、山崎(滋)、山田、山部、吉野、渡辺各委員  
小林、根本、古岡、小泉各都  
県アマチュアゴルフ団体委員

### —討議及び決議事項—

討議に先立ち、事務局より、吉田新理事長の紹介がなされ、吉田新理事長より以下のとおり挨拶がなされた。  
「関東ゴルフ連盟はアマチュアゴルファーのための団体であり、また競技団体である。新体制で臨む今年度、関東ゴルフ連盟の中核にあたる当委員会の委員諸氏には、より一層のご協力、ご尽力をお願いしたい。KGA主催競技における諸氏の活躍を期待する。」

### ①今年度活動方針について

事務局より、松本富夫新委員長が紹介され、松本新委員長より就任の挨拶がなされた後、委員会のスリム化、合理化に伴う次記活動方針が示された。  
「從来競技の運営は、委員を地域により3班に分け、その競技毎に委員が多数出席し、俱楽部側の競技委員の協力の下、円滑な運営を行ってきた。今年度からは、俱楽部側委員、各都県体協団体委員とのパイプをさらに太くするために、3班体制を廃止し、決勝競技は從来どおりの運営を行うが、予選競技は、競技の運営はKGAから指導的な立場の委員4名程度を委員長・副委員長・委員として派遣し、俱楽部側委員、俱楽部の所在都県体協団体委員に出席願い、

開催俱楽部委員を中心とした競技の運営方法に変更する。

また、今年度は、

- (1)競技実施規定の見直し
- (2)参加料の減額
- (3)コース使用料の一率50%の減額
- (4)委員の1年任期に伴う、年齢・出席率・地域性による選任方法の見直し
- (5)女子ハンディキャップ新規採用に伴い、JGA同様、女子競技は女子委員のみの運営を視野に入れた研修を行う
- (6)各委員会の顧問制度の廃止
- (7)委員交通費の見直し

を実施した。  
從来の方法であれば何のトラブルもなく運営できるわけであるが、今後のKGA組織のあり方と共に、変わらなければならないことではないかと考える。

変更を行なう1年目でもあり、俱楽部側委員が十分な人数がいるか、またその委員がKGAの意図する運営に慣れているか、様々な問題はあるかとは思うが、各委員の経験豊富なお力と、從来に増すご協力を頂き、今年一年活動していきたい。

### ②新任委員紹介

松本委員長より、新任委員の紹介がなされた。

### ③副委員長選任について

松本委員長より、次記の諸氏が今年度副委員長として、指名嘱咐された。

●稲川 廣政

- 織戸總三郎
- 竹下 修一
- 田中 克幸
- 矢野 隆男

### ④主催競技実施規定について

事務局より、配布資料を基に詳細な説明がなされた。主な変更点は下記のとおり。

- 各競技における予選通過者数  
従来は予選競技申込者を各会場ほぼ同人数になるよう振り分けを行ない、たとえば千葉県のように申し込み人数が多い県は、県内からの申し込みだけで、その1会場の振り分け人数をオーバーしてしまう、千葉県に予選会場がありながら、他のブロックへ移動することになり問題となっていた。
- グランドシニアの予選ブロック  
昨年までの27ホール、3ブロック制から、36ホール、2ブロック制に変更とした。

- 俱楽部対抗競技  
(1)チームの構成  
1都10県同一方式による予選開催方式を見直し、予選開催方式を各都県に一任した。

ただし、決勝競技は從来どおりとした。

- 順位決定  
従来の全員ホールアウトしなければ競技成立としない開催方式を変更し、国体のように、全俱楽部AB両クラス最低1名でもホールアウトしていれば、日没・悪天候により、全員ホールアウトできない場合でも競技を成立させることとした。

- 参加料  
ゴルフ振興策の一環として、競技者人口を増やすという観点から、各競技の参加料を下記のように減額することとした。

- アマ、ミッドアマ、シニア、ミッドシニア、女子、女子ミッドアマ  
予選、決勝を通じ、26,250円 → 21,000円
- グラントシニア  
予選、決勝を通じ、21,000円 → 18,900円
- アンダーハンディキャップ

予選、決勝各々、10,500円 → 5,250円

- 女子競技参加資格 (JGA女子ハンディキャップ)

平成15年1月から実施される、「JGA女子ハンディキャップ制度」

に伴い、平成15年、16年は、移行期間として、従来のJGAハンディキャップ15までと、JGA女子ハンディキャップ11までの併記とした。

- グランドシニアの予選ブロック  
昨年までの27ホール、3ブロック制から、36ホール、2ブロック制に変更とした。

- 俱楽部対抗競技  
(1)チームの構成  
1都10県同一方式による予選開催方式を見直し、予選開催方式を各都県に一任した。

ただし、決勝競技は從来どおりとした。

- 順位決定  
従来の全員ホールアウトしなければ競技成立としない開催方式を変更し、国体のように、全俱楽部AB両クラス最低1名でもホールアウトしていれば、日没・悪天候により、全員ホールアウトできない場合でも競技を成立させることとした。

- 参加料  
ゴルフ振興策の一環として、競技者人口を増やすという観点から、各競技の参加料を下記のように減額することとした。

- アマ、ミッドアマ、シニア、ミッドシニア、女子、女子ミッドアマ  
予選、決勝を通じ、26,250円 → 21,000円
- グラントシニア  
予選、決勝を通じ、21,000円 → 18,900円
- アンダーハンディキャップ

とした。

- 各競技委員長・副委員長について  
松本委員長より配布資料を基に説明がなされた。

各会場の担当委員長は、正副委員長会議ですでに決定されており、各委員からの出欠調査表を基に、競技当日の副委員長及び出席委員をそれぞれの担当委員長が決定することとした。

## 平成14年度 第9回 月例競技委員会議事録

日 時 平成14年11月28日(木)

午後3時半

場 所 茨城ゴルフ俱楽部

出席者 松本委員長

中野副委員長

岡野、加藤、神戸、桜井、嶋田、額賀、平山各委員

### 討議及び決議事項

- 11月度月例競技報告および総括  
中野副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「午前中、風が強いため落葉が多く、グリーンにおいてパッティングに支障をきたした。カートの不良による交換などの原因でプレーの遅延が発生した組があったが、交換時間を上回る遅延と判断し課罰した。コースコンディションが良く、俱楽部の協力に感謝申し上げたい。難度の高いホールロケーションのためパッティングに苦労する選手が多くいた。11

# 総会・理事会・分科委員会

月度の競技にて落葉は避けられないが、できるだけ落葉樹の少ないコースでの開催が望ましいと感じられた』。

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成14年11月26日  
(火)

コース 高坂カントリークラブ  
米山コース

エントリー 127名  
(男子88名 女子39名)

欠席者数 事前連絡7名  
(男子5名 女子2名)

当日連絡4名  
(男子3名 女子1名)

無断欠席0名

出場者数 116名  
(男子80名 女子36名)

課罰者 5名  
(遅刻男子1名 不当  
な遅延男子4名)

ミーティング無断 0名

失格者 0名

棄権者 0名

次回ブレーオフ  
(女子) 南雲真理、渡辺恵子

## ②12月度月例競技について

12月度月例競技は茨城ゴルフ俱楽部西コースにて開催されるが、男子7052ヤード、女子6191ヤードにて行うことを確認した。

## ③その他

(1)来年度競技日程について  
松本委員長より来年度競技日程および各競技ごとのコースセッティング担当委員が発表された。

### 平成14年度 第11回 月例競技委員会議事録

日時 平成15年1月22日(水) 正午

場所 KGA会議室

出席者 松本委員長

山崎、阪田、中野各副委員長  
岡野、加藤、小坂、桜井、鷗田、平山各委員  
学生連盟委員

#### —討議及び決議事項—

#### ①1月度月例競技報告および総括

山崎副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「1月度の月例競技としては最高の条件で、気温も14℃まで上昇し、快晴微風の状態で、グリーンコンディションも良く、好スコアが出た。男子はアンダーパーが8名とハイレベルの競技となった。女子も70台が6名と良かったが、下位のスコアが伸びなかったのは残念であった。1月から3月は12月までの得点順位による組合せのため、熾烈なシード権争いの競技となることが予想される」。

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成15年1月17日(金)  
コース 袖ヶ浦カントリークラブ  
ラブ袖ヶ浦コース

エントリー 137名  
(男子98名 女子39名)

欠席者数 事前連絡9名  
(男子6名 女子3名)

当日連絡0名  
無断欠席0名

出場者数 128名  
(男子92名 女子36名)

課罰者 0名  
ミーティング無断 0名  
失格者 0名  
棄権者 0名  
次回ブレーオフ なし

#### ②2月度月例競技について

2月度月例競技は東京ゴルフ俱楽部にて開催されるが、コースセッティングは鷗田委員に一任することを確認した。

#### ③その他

(1)女子ハンディキャップ導入に伴う参加資格変更について  
平成15年より女子JGAハンディキャップが導入されたことに伴い、女子選手の競技参加資格を、  
①従来のJGAハンディキャップ12までの者  
または、②女子JGAハンディキャップ7までの者  
とすることとした。

(2)コース使用料の減額について  
松本委員長より以下の報告、並びに提案がなされ、全委員これを確認した。

「正式決定は、2月20日に開催されるKGA総会の承認後となるが、KGA主催全競技のコース使用料の50%減額が理事会にて決議された。当委員会としても事前に各俱楽部に連絡し、内諾を得て、正式決定後は書面にて報告を行うこととした。また、他のKGA主催競技はコース使用料の減額にあわせ競技参加料も減額の予定であるが、月例競技は参加料が低額なため現

行通りとなっているが、月例競技に関しても、20%の減額を総務委員会に提案したい」。

(3)来年度月例競技委員編成について  
松本委員長より、退任される委員、新任委員候補の発表がなされ、全委員これを確認した。

#### ●退任委員

山崎宣彦副委員長、新村ヨシオ、河合優子両委員

#### ●新任委員候補

小室秀夫(副委員長)、河本徳三朗、山崎正宏、渡辺章各氏  
なお、山崎氏には顧問の就任依頼がなされた。

(4)女子月例競技のハイレベル化について  
女子月例競技全体のハイレベル化のために、①関東女子選手権決勝へのシード枠の拡大 ②順位によるポイントの拡大 ③若手選手の多数参加 等の意見が出された。

### 平成15年度 第1回 月例競技委員会議事録

日時 平成15年3月5日(水) 正午

場所 KGA会議室

出席者 吉田理事長

中野委員長、松本前委員長  
山崎、小室、阪田各副委員長  
加藤、神戸、鷗田、額賀、平山、山崎、渡辺各委員  
学生連盟委員

#### —討議及び決議事項—

討議に先立ち、吉田理事長より就任の

挨拶ならびに活動方針が示され、全委員これを確認した。

#### ②2月度月例競技報告および総括

中野委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

『朝から晴天であったが、北風が強くて寒く、グリーンも固めでホールロケーションも難しかったため、男女ともあまり良いスコアが出なかつた。しかしながら女子優勝の渡辺恵子選手の76ストロークはすばらしいスコアであった。また、男子のプレーの進行が非常に遅いので今後対策が必要を感じた』。

エントリー数他は以下のとおり  
開催日 平成15年2月21日(金)  
コース 東京ゴルフ俱楽部  
エントリー 153名  
(男子113名 女子40名)

欠席者数 事前連絡5名  
(男子4名 女子1名)

当日連絡0名  
無断欠席0名

出場者数 148名  
(男子109名 女子39名)

課罰者 1名(男子1名)

ミーティング無断 0名

失格者 0名

棄権者 1名(男子1名)

次回ブレーオフ なし

#### ③3月度月例競技について

3月度月例競技は相模カントリー俱乐部にて開催されるが、コースセッティングは松本委員長に一任することを確認した。

## ③その他

(1)今年度月例競技委員編成について  
中野委員長より、退任される委員、新任委員の発表がなされ、全委員これを確認した。

#### ●退任委員

松本富夫委員長、山崎宣彦副委員長、新村ヨシオ、河合優子両委員

#### ●新任委員

小室秀夫(副委員長)、河本徳三朗、山崎正宏、渡辺章各氏  
なお、平山委員には副委員長の就任依頼がなされ、承認された。

(2)コース使用料の減額にともなう参加料の減額およびパーティー代の補助について  
松本委員長より以下の報告、並びに提案がなされ、全委員これを確認した。

『去る2月20日に開催されたKGA総会で、KGA主催全競技のコース使用料の50%減額が決議された。他のKGA主催競技はコース使用料の減額にあわせ競技参加料も減額されたが、当委員会としても20%の参加料減額を3月12日に開催される総務委員会に提案したい。また、昨年度まではコース使用料に含まれていたパーティー代を、別途KGAで負担することも併せて提案したい』。

### 平成15年度 第2回 月例競技委員会議事録

日時 平成15年3月31日(月) 正午

# 総会・理事会・分科委員会

場 所 KGA会議室  
出席者 中野委員長、松本前委員長  
小室、平山各副委員長、山崎  
前副委員長  
河本、神津、小坂、桜井、額  
賀、渡辺各委員  
学生連盟委員  
  
—討議及び決議事項—

## ①3月度月例競技報告および総括

中野委員長より、下記の報告及び総括がなされた。  
「晴天であったが午後より風が強く、グリーンも小さいため難度は高いようであった。ベンクロスグリーンが2ヶ月間クローズであったため、通常よりスピードが遅く、ホールロケーションも松本前委員長のご配慮により中心付近の比較的易しいところでしたが、男女とも予想より良いスコアが出なかった。早朝から俱楽部の協力もあり、スムーズに無事終了できた」。

エントリー数は以下のとおり

開催日 平成15年3月24日(月)

コー ス 相模カンツリー倶楽部

エントリー 136名

(男子80名 女子56名)

欠席者数 事前連絡7名

(男子6名 女子1名)

当日連絡1名

(女子1名)

無断欠席0名

出場者数 128名

(男子74名 女子54名)

課 罰 者 0名

ミーティング懲戒 0名

失 格 者 1名 (女子1名)

棄 権 者 0名  
次回プレーオフ なし

## ②4月度月例競技について

4月度月例競技は武藏カントリークラブ笹井コースにて開催されるが、コースセッティングは松井委員に一任することを確認した。

## ③その他

(1)今年度関東アマ決勝および関東女子決勝のシード選手の確認

3月度競技をもって平成14年度月例競技がすべて終了し、その結果総合ポイント上位者が関東アマ決勝および関東女子決勝のシード選手として確定した。

男子は、 59ポイント 29位

タイまでの31名

女子は、 22ポイント 10位  
までの10名

となり、全委員これを確認した。また、月例競技からのシード人數の見直しが提案され、来年度の検討事項とした。

(2)コース使用料減額にともなう参加料の減額およびパーティ一代の補助について

前回の委員会において松本前委員長より標題の件が提案され、去る3月12日に開催された総務委員会で検討された報告が事務局よりなされた。主な内容は以下とおり。

「パーティ一代については、現状通りコース使用料に含まれるものとする。ただし従来の半分程度の費用で行うものとする。参加料については、他のKGA主催競技同様20%の減額の方向で4月22日に開催される常務理事会に上程されることとなった」。

(3)女子のポイントのつけ方について  
今年度まで1位10点から順次10位1点までポイントをつけていたが、来年度より女子選手のレベルアップと参加者数の増加を目的とし、1位15点から順次15位1点までポイントをつけることとした。

## 平成15年度 第1回 ジュニア育成委員会議事録

日 時 平成15年3月5日(水) 午後3時

場 所 ダイヤモンドホテル会議室

出席者 吉田理事長

大鷲委員長

荻原、川島、嶋田、中島、藤園各副委員長

荒井、市川、稻富、岩田、神谷、唐木、神戸、菊地、北本、栗原、琴河、小林、佐藤(伊)、佐藤(稔)、塚原、東福寺、中村、林、広瀬、藤巻、堀田、前田、元木、安間、山岡、山崎、吉岡、和久各委員

瀧谷、椎塙、黒岩、館、長岡、小野、吉澤、伊藤各都県アマチュアゴルフ団体委員

## —討議及び決議事項—

討議に先立ち、事務局より、去る2月20日に行なわれた理事会において、新理事長として吉田友明氏、新委員長として大鷲俊朗委員長が就任されたことの報告があり、吉田新理事長

より就任の挨拶がなされた後、大鷲新委員長より、今年度活動方針が述べられた。

## ①今年度活動方針について

大鷲委員長より次記活動方針が示された。

「ジュニア育成活動に限り20数年、次代を担う子供たちを正しいゴルファーに育て上げることは非常に大切であり、先人たちの作り上げてきた歴史、方法論を踏襲していきたい。また、ここ数年大きな増減があったJGAジュニア会員数は、最近になって7千名弱までに盛り返しつつあるが、ジュニア委員会の使命としては7千ではなく、7万、70万のジュニアゴルファーを育てる活動をしていきたい。このような基本路線を崩すことなく、委員諸氏には今年度もご協力、ご尽力を賜りたい」。

## ②副委員長、委員選任の件

大鷲委員長より、次記の諸氏が今年度副委員長として、指名委嘱された。また、新任委員の紹介がなされ、退任された委員のこれまでの活動に対し、謝辞が述べられた。

## ③副委員長

荻原知昭(留任) 川島英雄(留任) 笠川喜久男(留任)

嶋田憲人(新任) 中島廣行(新任) 藤園賢雄(留任)

## ④新任委員

神谷建次、佐藤稔、中村トク子、堀田一、山岡加恵

⑤新任都県アマチュア団体委員  
椎塙敏光(長野県) 梅沢吉(群馬

# 総会・理事会・分科委員会

⑥夏季ジュニアスクールについて  
15会場の日程を確認し、実施規定は5月中旬ごろまでに通知することとした。

⑦関東ジュニアゴルフ選手権について  
配布資料を基に、日程を確認した。例年同様、練習日から続くハードスケジュールのため、スクール同様班編成にこだわらない出席を呼びかけた。

⑧ジュニアゴルフ大会について  
大会の趣旨、開催スケジュール等について確認をした。また、参加者数の増加に伴う最近の傾向や諸問題について詳細な説明がなされた。

## ⑨その他

●夏のスクール、ジュニア大会では健康面での問題が多く発生しているため、注意を喚起した。それに伴い、小学生の低学年は7本、高学年は10本のクラブ制限を行うことにした。

●父兄の服装の乱れについて、各スクール、選手権の際には父兄への注意事項に記載しているが、なかなか改善されない現状である。ドレスコードについては難しい部分もあるが、引き続き指導を行っていくことを確認した。

## 平成15年度 第1回 広報委員会議事録

日 時 平成15年2月10日(月) 午後3時

場 所 KGA会議室

出席者 高橋委員長

## 総会・理事会・分科委員会

伊室副委員長

片山、塙田、塙越、舟橋、  
増田、山田、吉川各委員

### —討議及び決議事項—

高橋委員長開会を宣し、副委員長、委員、新任委員増田收氏の紹介の後順次議題審議を行った。

#### ①平成15年度活動方針

(1)「KGAニュース」機関誌の編集発行  
広報委員会の中心的な活動であり  
今年度も、4回発行し取材編集をすることとした。

辛口コラムは各方面から反響があり、今後も問題提起をして継続していくべき。また、各都県団体のジュニア育成活動を取材し地域からの底辺拡大について紹介していくべき。

(2)インターネットホームページの開設  
広報委員会と事務局でプロジェクトチームを編成して今年度中に開設することとした。

競技日程や競技成績などを中心に掲載することとした。

(3)エチケットポスター作成  
今年度も年間5回ポスターを作成し加盟俱楽部に送付する。JGAのポスター標語と内容が重ならないように注意したい。標語のテーマやデザインについては委員会で討議し決定することとした。

(4)記念誌の発刊

70年史の発刊が2005年にあたるので、予算等を検討することとした。

#### ②副委員長、委員選任の件

高橋委員長より、2月20日の通常総

会後、理事会、委員長会議の開催において、副委員長、分科委員が選任されたことの報告があり、これを全員確認した。

#### ③KGAニュース No.82企画案

- (1)総会  
理事長の今年度活動方針を中心掲載
- (2)新理事長に聞く レポート
- (3)新委員長の抱負 投稿  
競技、ハンディキャップ ジュニア委員長
- (4)ゴルフ利用税
- (5)KGA春季ジュニア・ゴルフスクール  
鷹之台カントリー倶楽部
- (6)総会、理事会、分科委員会議事録
- (7)月例成績表 お知らせ  
その他新連載企画について、さまざまな意見交換がされた。

#### ④競技取材担当の件

別紙のように、上期競技取材担当を決定し、全員これを確認した。

高橋委員長より、ご逝去なされた宮元昭雄氏に哀悼の意を表明され議事を終了した。

#### 平成15年度 第1回 税対策委員会議事録

日 時 平成15年3月6日(木) 午後3時

場 所 KGA会議室

出席者 吉田理事長

伊室委員長

玉置副委員長

井上(裕之)、小宮山、高橋、

平林各委員  
15時00分伊室委員長開会を宣し、副委員長及び各委員紹介の後討議に入った。

### —討議及び決議事項—

#### ①今後のゴルフ場利用税撤廃運動の展開について

伊室委員長より以下の方針が示され、全員これを確認した。

「ゴルフ場利用税の軽減が実現したのは、この軽減運動にご協力頂いた方々のご尽力の賜と感謝申し上げたい。また、外形標準課税の実施が決定し、消費税の引き上げが取り沙汰される状況下、これを利用税撤廃実現の好機と捕らえ、今後も運動を推進していきたい。当委員会としてはJGAの方針に沿った、地域においての具体的なテーマを掲げての活動を開催していきたい」。

また、小宮山委員より利用税非課税措置の内容について、詳細な説明がなされた。

#### ②今後の固定資産税軽減運動の展開について

伊室委員長より以下の提案がなされ、全員これを承認した。

「今年度は固定資産税の計算基盤となっている評価額の計算根拠、課税標準額を算出するための評価額に乗せられる係数の根拠について調査を行い、固定資産税軽減運動を展開していきたい」。

そのためにまず加盟俱楽部に対して、実態調査のためのアンケート調査を行い、今後の活動の資料を作成していきたい」。

## 関東ゴルフ連盟からのお知らせ

### アマチュア競技の日程やスタート表、成績表の情報が携帯電話で確認できます!

全携帯電話の公式サイト「TheGolf」に、

アマチュア競技情報が掲載されています。

簡単な操作により、情報の確認が可能ですので、是非ご利用ください。

●●● 競技に関するお問い合わせ先 ●●●

関東ゴルフ連盟 TEL 03-5275-0391

●●● TheGolfに関するお問い合わせ先 ●●●

株式会社 ネプロジャパン TEL 03-5642-3633



TheGolfには各携帯電話のメインメニューから下記の方法でアクセスできます。



上記からのアクセス又は g@dm.st にメールを送ると番組のURLが返信されます。返信されたURLをクリックするとサイトにアクセスできます。

※アマチュア競技情報は番組内の「なんでも情報」に掲載されています。

## ゴルファー保険がついたカード新登場

# KGA Golfer's card

ワンランク上のゴルフライフを演出する一枚。

KGA Golfer's カードは、ゴルフを楽しむ方がプレー中のみならず、暮らしの中で幅広くご利用いただけるよう、「安心で便利なサービス」をご提供します。

心ゆくまでプレーを楽しむために…

### ○ゴルファー保険

- こんな時に役に立ちます。
- ・ホールインワン・アルバトロスを達成した!
- ・プレー中に他人にケガをさせてしまった!
- ・プレー中にご自身がケガをした!
- ・ゴルフ用品がゴルフ場で盗難にあった!

	KGA Golfer's GOLDカード	KGA Golfer's カード
ホールインワン・アルバトロス費用	50万円	10万円
第三者に対する賠償責任	1億円	1億円
傷死、後遺障害保険金額	500万円	300万円
入院保険日額(180日限度)	7,500円	4,500円
通院保険日額(90日限度)	5,000円	3,000円
ゴルフ用品の損害	20万円	10万円

一般的に上記保険に加入されるとKGA Golfer's カードの補償内容なら約2,000円、KGA Golfer's GOLDカードの補償内容なら約10,000円程度の保険料がかかりますが、KGA Golfer's カードは保険料が年会費に含まれております。※家族会員カードには、付帯されません。

### ○ポイントサービス

日本中・世界中の VISA マークのあるお店でカードをご利用いただけでポイントが貯まります。

\*カードご利用1,000円につき1ポイント

\*貯まったポイント数に応じて全国流通スポーツ券・図書券・OMCギフト旅行券・ダイエーグループ商品券と交換できます。また、2002年9月9日からはOMC・JCBギフトカード、おこめ券、音楽ギフト券などと交換できます。365日いつでもお電話一本で交換可能!

(ポイントの有効期限は--)

・KGA Golfer's カードは1年間  
・KGA Golfer's GOLD カードは2年間

\*貯めたポイントは100ポイントからになります。

\*キャッシュ・年会費のご利用は対象外です。

### ○OMC-ETCカード(年会費無料)

有料道路の料金所をノンストップで通過できる便利なカードのお申し込みも同時に承ります。

\*記載のサービスは2002年8月現在のものです。

選ばれた方に。KGA Golfer's GOLDカードならではの「ゆとり」と「安心」をお届けします。

ゴルフライフはもちろん、ドライブに、お買物に、ご旅行に、万が一の場合に。  
KGA Golfer's GOLDカードならではの「きめ細やかなサポートサービス」が、暮らしの充実をお手伝いします。



もこもこ

ライフスタイルを、安心・快適にバックアップ

### ○ロードサービス

KGA Golfer's GOLDカード会員様専用のロードサービスです。他のロードサービスへのご入会は不要!

お電話一本でOK。お車の事故・故障時には平均30分で駆けつけます。365日24時間対応。レッカーや引取り、事故・故障・ガス欠、カギの開錠、バッテリー上がり、パンク等を速やかに修理します。また、メカニカルアドバイス、代車(レンタカー)もしくは代替交通手段もしくは宿泊先の手配(一部地域・時間帯を除く)、24時間営業のガソリンスタンド等を電話でお知らせします。

### ■無料サービスの内容

- キー閉じ込み時の鍵開錠サービス
- バッテリー上がり引取りのジャンピングサービス
- パンク時のスペアタイヤ交換
- またはタイヤ修補剤による応急措置サービス等
- レッカーや引けん引5kmまで



### ○国内・海外旅行傷害保険

海外旅行にも国内旅行にも、最高5,000万円の傷害保険がついています。旅行や出張の都度、旅行傷害保険に入る手間も出費も不要。

KGA Golfer's GOLDカードがあれば、充分な補償で安心です。



### 海外旅行傷害保険

出発前の特別なお手続きは不要、1旅行あたりの適用期間は9ヶ月まで有効です。

### 補償内容

健常による死、 健常障害の場合	5,000万円
傷害、疾病による 治療費用、食事費用	200万円
被り行料(3000円) ・免責3,000円)	50万円
健常責任 ・免責1,000円)	3,000万円

### 国内旅行傷害保険

KGA Golfer's GOLDカードで国内旅行商品をご購入された場合、下記の補償内容の旅行保険が自動的につきます。

### 補償内容

死亡、後遺障害	5,000万円
入院日額 (7日間免責)	3,000円
通院日額 (7日間免責)	2,000円

### ○OMCメディカルコール

会員様の健康管理をおまかせください。

- 健康増進、健康不安の解消、介護等、あらゆる相談に24時間電話で受付しております。(相談無料)
- 人間ドックや健康診断の紹介サービスを実施しております。全国の施設の中から優良な施設を特別割引料金でご利用いただけます。(相談無料)

\*記載のサービスは2002年8月現在のものです。

### ご入会条件

■KGA Golfer's GOLDカード  
原則として、年齢満30歳以上、年収500万円以上(高校生除く)の方、電話連絡が可能な方。

●お申込いただいた場合は、約2週間で発行します。

\*申込不審がある場合は遅れることがあります。

\*確認の結果、お申込・込みの際に迷わない場合はございます。なお提出いただいた申込者は遅延できませんのであらかじめご了承ください。

### 年会費

■KGA Golfer's GOLDカード  
本人会員カード10,000円(消費税等別)  
家族会員カード1名につき10,000円(消費税等別)

■KGA Golfer's カード  
本人会員カード3,000円(消費税等別)  
家族会員カード1名につき3,000円(消費税等別)

### カードについてのお問い合わせ先

\*電話番号をよくお確かめのうえおかけください。

03-5638-3211

(通話時間／月～土曜・祝日：15～20：00・日曜10：00～20：00)

株式会社 オーエムシーカード

東京都中央区銀座六丁目2番1号 平104-0061

登記番号／関東財務局長(7)第20102号 証記購入あせん業者登録番号／第15号

## 月例競技成績表

〔平成14年度11月月例〕平成14年11月26日(火) 高坂カントリークラブ米山コース

男子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	72	鶴賀辰徳	ロイヤルスター	
2	74	中島廣行	伊豆にらやま	
2	74	竹原洋行	東名	
2	74	磯岡真吾	鳥山城	
5	75	加藤倫康	鹿沼	
5	75	金浩延	塙原	
5	75	戸祭康生	芳賀	
5	75	宮本清	小川	
5	75	加藤一彦	千葉	
5	75	宮辰夫	習志野	
5	75	松本武夫	セゴビア	
5	75	衣笠洋司	富里	

女子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	79	渡辺恵子	高根	
2	79	南雲真理	岡部チサン	
3	81	岡橋早里	オークヒルズ	

〔平成14年度1月月例〕平成15年1月17日(金) 袖ヶ浦カントリークラブ袖ヶ浦コース

男子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	66	水上晃男	鶴舞	
2	67	阪田哲男	袖ヶ浦	
3	68	飯塚裕一	藤岡	
3	68	谷口英樹	セベラスティス	
5	69	宮辰夫	習志野	

女子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	75	渡辺恵子	高根	
2	76	青木英子	千葉	
3	77	南雲真理	岡部チサン	

〔平成14年度2月月例〕平成15年2月21日(金) 東京ゴルフ俱楽部

男子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	71	和田博	東京五日市	
2	74	神戸誠	太田双葉	
2	74	関沢誠	ソインレイクス	
2	74	有賀史剛	甘楽	
2	74	谷口英樹	セベラスティス	
2	74	水上晃男	鶴舞	

女子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	76	渡辺恵子	高根	
2	80	五十嵐洋子	藤岡	
2	80	南雲真理	岡部チサン	
2	80	矢島智都子	霞ヶ関	

〔平成14年度3月月例〕平成15年3月24日(月) 相模カンツリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	70	河本徳三朗	相模原	
2	71	高村保	コスマクラシック	
3	73	中川雅義	沼津	
3	73	松本寛美	富士宮	
3	73	小原淳	セントラル	
3	73	日暮俊明	扶桑	
3	73	千年原一仁	京	

## お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。(4月4日現在)

倶楽部名	(新) 安藤重寿 (旧) 山田洋二	成田フェアフィールドゴルフクラブ
■(新) 宮戸ヒルズカントリークラブ	■(旧) 宮戸ゴルフクラブ 宮戸コース	■岡部チサンカンツリークラブ
■(新) 房州カントリー倶楽部	■(旧) ラ・コスタカントリークラブ房州	■清水巖
理事長		■八幡カントリークラブ
■阿賀高原ゴルフ倶楽部	(新) 近藤義雄 (旧) 福田実	■平岩健一
(新) 近藤義雄 (旧) 福田実		■清川カントリークラブ
■筑波カントリークラブ	(新) 安藤重寿 (旧) 山田洋二	■(新) 伊藤侑秋
(新) 安藤重寿 (旧) 山田洋二		■(新) 菊地忠光
■清川カントリークラブ	(新) 伊藤侑秋	■紫カントリークラブ
■紫カントリークラブ	(新) 大鷲俊朗 (旧) 長島義	■(新) 大鷲俊朗 (旧) 長島義
(新) 伊藤侑秋		会社名
(新) 伊藤侑秋		■成田カントリークラブ
(新) 伊藤侑秋		■(新) 金乃台カントリークラブ
(新) 伊藤侑秋		(訂正) 新和企業(株)
支配人		■H D C P
■胎内高原ゴルフ倶楽部	(新) 結形幸一 (旧) 佐藤茂雄	■大利根チサンカントリークラブ
(新) 結形幸一 (旧) 佐藤茂雄		▲→●
■新潟ゴルフ倶楽部	(新) 石黒勝彦 (旧) 玉木幸一	■中山カントリークラブ
(新) 石黒勝彦 (旧) 玉木幸一		047-450-3321
■風月カントリー倶楽部	(新) 大前徹 (旧) 小林章夫 (総支配人)	■会員から正会員
(新) 大前徹 (旧) 小林章夫 (総支配人)		■又一ヴェルゴルフ倶楽部
■清川カントリークラブ	(新) 川喜純 (旧) 相原一成	■会員名
(新) 川喜純 (旧) 相原一成		(訂正) (社)日本パブリックゴルフ場事業協会

平成15年5月1日発行 KGAニュース No.82

発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03)5275-0391

発行人／吉田友明 編集／広報委員会